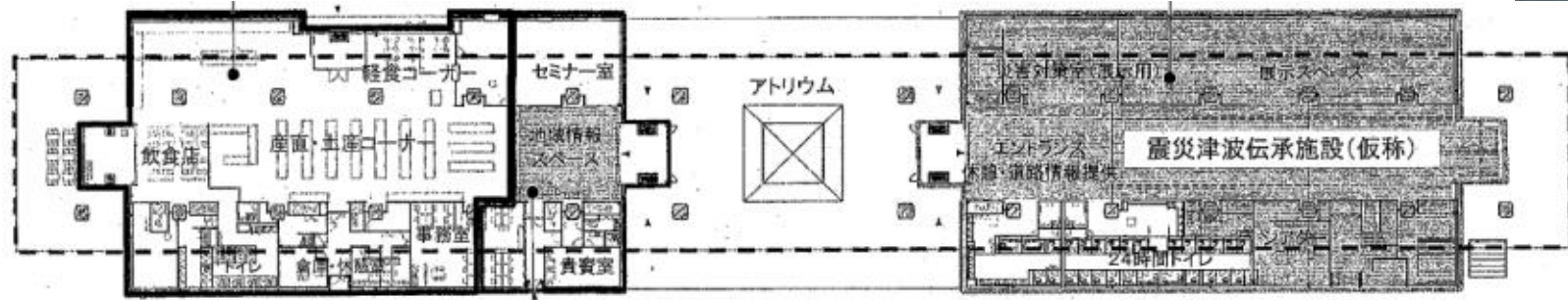


## 新しい道の駅「高田松原」が発表

新しい道の駅の図面が議会に報告されました。建築面積は、4,200㎡。西側に産直や飲食店、東側に震災津波伝承施設（仮称）が予定されます。道の駅「松原」は、県内2カ所の「重点道の駅」に指定されています。



↑ 飲食店 ↑ 産直・みやげコーナー ↑ 震災津波伝承施設



## 建設が進む 新 市立図書館

中心市街地では、大型商業施設「アバッセ」とともに新しい市立図書館の建設が進んでいます。市内の子どもたちの意見も盛り込まれ、靴を脱いで上がる児童・幼児コーナー、お話スペースの設置、そして図書館内で飲食も可能となります。規模は、延床面積 984.73㎡、蔵書 90,000冊、DVD や CD など 3,000 枚。



区分	内容	蔵書可能数
一般閲覧室	床面積 586㎡ 座席 72	50,200冊
児童・幼児コーナー	床面積 118㎡ 座席 26	9,900冊
サイレントルーム	床面積 27㎡ 座席 12	
BM 作業室、書庫	床面積 19㎡	3,200冊
閉架書庫	床面積 37㎡	26,700冊
事務室	床面積 63㎡	
その他	床面積 44㎡ 親子トイレ等	
読書テラス	座席 16(ウッドデッキ)	

↑ 斜めの屋根が市立図書館。写真右側の道路が「本丸公園通り」、写真手前の道路が「裏田橋通り」で、今後のまちなかの幹線となります。2月16日、本丸公園から撮影

## 市長との懇談会、800人以上が参加

市役所新庁舎位置などで戸羽市長は、市内団体やグループなどと懇談を進め、すでに27カ所、800人以上が参加。

老人クラブのみなさんとは、花巻温泉にて約100名が参加し開催。

米崎町では、大坪議員が地域の方々に呼びかけ、これまでに8カ所で戸羽市長との懇談会を開催。多くの女性の意見や利用しやすい場所を望む声が上がっています。

### 新庁舎位置問題を考える⑤

#### 「建設のための国からの支援はいつまで？」

通常、市役所再建には、国からの財政支援はありませんが、大震災で被災した庁舎の再建には、復旧のための費用が支援されます。

その期限は、平成32年度までです。

財政支援を得るためには、期限内に再建を進めることが大切です。